

二 / 三十一 =

こんどの2月21日は、「じんけんのもり」について考える日です。



人権の森フォーラム

私たちが考える人権の森

日時 2月21日(土) 14時00分～16時30分 (13時30分開場)

場所 国立ハンセン病資料館映像ホール (青葉町4-1-13)

入場無料

ご来場された方に
写真集「いのちの森に暮らす」
を差し上げます。



定員173名 事前申し込みの必要はありません。当日、直接会場にお越しください。座席に限りがございますので、先着順とさせていただきます。

多磨全生園の貴重な史跡と入所者の手によって植樹され育まれてきた豊かな緑を後世に残していく「人権の森構想」。その意義を再確認し、次世代を担う人々とともにそのあり方を考える場として、人権の森フォーラム「私たちが考える人権の森」を開催します。多くの方のご来場をお待ちしております。

プログラム

第一部 人権の森にまなぶ
第二部 人権の森を考える

◎スライド上映「いのちの森に暮らす」 ◎紙芝居「入所者の人生」
◎パネルディスカッション「いのちの森に暮らす」 他

多磨全生園を描いた
絵画展示も同時開催

第一部 人権の森にまなぶ

スライド上映「いのちの森に暮らす」

写真集『いのちの森に暮らす ハンセン病療養所多磨全生園のいま』のスライドを上映します。

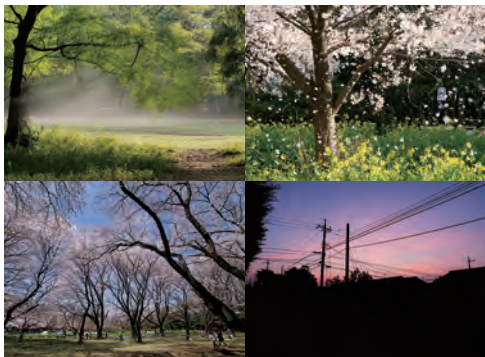
この写真集は、平成26年に創立105周年を迎えた多磨全生園の「いま」を多くの方に知っていただくため、四季ごとに様々な表情を見せる全生園の樹木や花々、そしてそこに暮らす入所者の皆さんを1年にわたって撮影し、それぞれの想いを吐露されたインタビューとともに一冊の写真集としてまとめ



紙芝居「入所者の人生」

NPO法人ボランティア協会では、国立療養所多磨全生園やすらぎ病棟を主として、入所者の話を聞く「傾聴ボランティア」を交流の一環として活動しています。

入所者の方のお話を「紙芝居」に起こし、完成した絵と文を入所者と一緒に見ることで、心の交流を深めており、市内在住の高校生が中学生の頃（平成24年度）に制作した紙芝居を披露します。



たものです。

ぜひ多くの方々に、特に次代を担う子ども達にご覧いただきたいと存じます。また、ぜひ一度東村山市内に足を運び、全生園に足を踏み入れて、実際に「いのちの交響曲」をからだ全体で感じ取っていただければと切に願っています。



第二部 人権の森を考える

パネルディスカッション「いのちの森に暮らす」

東村山市長司会のもと、多磨全生園入所者自治会長、傾聴ボランティアの学生、多磨全生園内に所在する花さき保育園などを交え、『いのちの森に暮らす』というテーマについてそれぞれの想いを語り合います。

第一部でのスライド上映や紙芝居から「多磨全生園のいま」を共有し、パネラーの話から何かを感じていただき、「人権の森」をともに考えてみませんか。



多くの方のご来場をお待ちしております。

多磨全生園を描いた絵画展示も同時開催

国立ハンセン病資料館へのアクセス ※お越しの際は公共交通機関をご利用ください

西武池袋線清瀬駅南口より	西武新宿線久米川駅北口より	JR 新秋津駅 西武池袋線秋津駅より
久米川駅行または所沢駅東口行きバス(約10分)「ハンセン病資料館」下車(地図の③)	清瀬駅南口行きバス(約20分)「ハンセン病資料館」下車(地図の③)	徒歩(約20分)

【啓発活動】 東村山市では、入所者自治会の提唱する「人権の森構想」に全面的に賛同し、全生園が創立100年を迎えた平成21年に「いのちとこころの人権の森宣言」を行いました。そして、全生園を「人権の森」として「国民共有の財産」とするため、現在広く市内外の多くの方々に全生園の存在を知っていただき「人権の森構想」に賛同・協力いただけるようポスター、DVD『ひいらぎとくぬぎ』を制作し、東京都内の全ての公立小中学校や関係機関に配付するなど、啓発活動を行っています。ポスターは、市内公共施設に掲示、DVD『ひいらぎとくぬぎ』は市内図書館にてレンタルしています。



DVD「ひいらぎとくぬぎ」

